2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006年2月23日作成)

			(2000 273 20 11 13%)
小委員会名	木質構造動的設計小	委員会	主 査 名:宮澤健二 就任年月:20004年4月
所属本委員会	構造委員会		委員長名:和田 章
(所属運営委員会)	木質構造運営委員会		主 査 名:鈴木秀三
設 置 期 間	20004年4月	~ 20008年3月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・木質構造の構造設計法の枠組みの整備・木造住宅簡易耐震設計法(案)の作成・木質構造の動的挙動の把握と動的性能評価法の整備・木質構造の動的性能に基づく耐震設計法(案)の作成		
	委員公募の有無:無し		
委員構成 (委員名(所属))	宮澤健二(工学院大学)、山口修由(建築研究所)、中尾方人(横浜国立大学)、五十田博(信州大)、入江康隆(宇都宮大)、大橋好光(武蔵工大)、河合直人(建築研究所)、木林長仁(JASCA)、越原幹雄(東京大学)、後藤正美(金沢工大)、坂田弘安(東京工業大学)、花里利一(三重大)、村上雅英(近畿大)、綿引誠(住友林業)		
設置 WG (WG 名:目的)	設置WG:木質住宅簡易耐震設計法WG 目 的:2階建て以下の在来軸組木造住宅の簡易でかつ、論理的に合理性のあ る耐震設計法の素案作成		
2005 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無: 委員会 HP アドレス:	

項目	自己評価		
委員会開催数	7回 (WG と合同で)(年度内計画を含む)		
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)			
講習会			
催し物 (シンポジウム・セミナ ー・研究会・見学会等)			
大会研究集会			
対外的意見表明・パ ブリックコメント等			
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1.耐震設計法の現状を調査検討し新しい枠組みをとりまとめた 2.木造住宅簡易耐震設計法の骨子を議論し試案を作成した 3.木質構造の動的挙動の把握と動的性能評価法の調査検討を行った 4.木質構造の動的性能に基づく耐震設計法について検討し問題点を抽出した		
委員会活動の問題点 ・課題	1 .WG を中心とした木造住宅簡易耐震設計法案を、広く意見を聞くべきだった。 2 . もっと詳細設計法と応答解析法のとりまとめ進めるべきだった。 3 . WG と小委員会の役割分担、強力な小委員会運営。		